

## ● 活動目的

ボランティア室は、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの基本方針に基づいて、病院ボランティアにより患者さんが安らげる療養環境作りと地域社会に寄与することを目的として、平成17年に設立されました。

病院ボランティアは、病院の医師、看護師、その他の職員と協力して、患者さんに寄り添い、患者さんがもつ不安を軽くすることによって安心して治療を受けることができるよう、自発的に無償で、病院を利用する人のためにサービスを提供する人で、ボランティアの皆様には専門職ではなくてもできる仕事のお手伝いを行っていただいています。

## ● 活動状況

次のような活動を月曜日から金曜日の間(祝日除く)で行っていただきました。

- ・院内への案内
- ・受付の援助
- ・車椅子の介助
- ・小児病棟読み聞かせ
- ・環境整備(花壇手入れ等)
- ・縫製
- ・言語傾聴 等

しかし、2020年度はコロナ禍であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部活動を中止するなど積極的な活動が行えなかったが、工夫して活動を行った。

- 3月 読み聞かせ、裁縫ボランティア 活動中止
  - 4月 外来ボランティア 活動中止
  - 6月 外来ボランティア(環境整備活動のみ) 活動再開
  - 7月 ボランティア 活動再開
- (裁縫ボランティアは、病棟訪問なしで受注対応)

ボランティアを支えるボランティアコーディネーターを採用し、年間通して組織として活動を支援できる体制を構築した。病院とボランティアの架け橋となり、ボランティア活動へ相互の意見が反映させ、積極的な活動へつなげることが可能となっている。

## ● 募集活動

コロナ禍であり、活動に制限があったため、積極的な人員確保活動、活動範囲の拡大は図らなかったが、2名の新規登録者があった。今後における募集活動については、感染状況を見据えて対応していく必要がある。